

産婦人科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	婦人科腫瘍手術における手術方法に関する研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 産婦人科学講座 (職名) 助教 (氏名) 松川哲也
研究の対象となる方	研究実施承認日から 2034 年 10 月までに婦人科悪性腫瘍(子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がん)もしくは婦人科良性腫瘍(子宮筋腫、子宮腺筋症、卵巣囊腫、子宮内膜症など)と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2035 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕 本研究は、婦人科の病気に対して行われるロボット支援手術、腹腔鏡手術、開腹手術の治療成績や安全性、術後の回復状況を比較することを目的としています。患者さんの年齢や病気の種類などの背景を踏まえて、それぞれの手術方法の特徴を明らかにし、より安全で負担の少ない手術方法の選択に役立てることを目指しています。</p> <p>〔利用方法〕 診療録(カルテ)に記載された年齢・既往歴・検査結果、手術の種類、手術時間、出血量、合併症、入院期間などの医療情報を収集します。これらの情報は個人が特定できない形に加工します。手術方法ごとの差を統計的に比較して、安全性や回復の程度を客観的に評価します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、経妊経産、既往歴、家族歴、生活習慣、ASA-PS 分類、血液・尿・画像検査所見)、術式 (da Vinci／hinotori／腹腔鏡／開腹)、手術時間、出血量、術後合併症、在院日数、回復指標、再入院・再手術の有無、病理診断、再発の有無、追加治療、医療費用等
提供する試料・情報を用いる学外の研究	非該当

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2035年1月31日までに郵送、メール送信、電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	<p>愛知医科大学医学部 産婦人科学講座 担当者：(職名) 助教 (氏名) 松川哲也 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22153) E メール matsukawa.tetsuya.625@mail.aichi-med-u.ac.jp</p>